

## 中期計画・年度計画 用語解説集

## 【ア行】

## ○ICT

「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

## ○アクティブラーニング

教員からの一方向的な講義で知識を得るのではなく、学生が主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決するよう設計された学習方法。具体的には、グループワークやディベートなどが挙げられ、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験といった能力を育むことを目的としている。

## ○アドミッションポリシー

入学者受け入れの方針。自校の特色や教育理念などにに基づき、どのような学生を求めるかをまとめたもの。

## ○医療産業都市

阪神・淡路大震災後の復興事業として始まったプロジェクト。神戸市では、ポートアイランドにおいて先端医療技術の研究開発拠点を整備し、産学官連携により、21世紀の成長産業である医療関連企業の集積を図る「神戸医療産業都市」を推進している。

## 【カ行】

## ○仮想サーバー

1台のサーバー（物理サーバー）を複数台の仮想的なサーバー（仮想サーバー）に分割して利用する仕組み。それぞれの仮想サーバーではOSやアプリケーションを実行させることができ、あたかも独立したコンピュータのように使用することができる。

## ○カリキュラムポリシー

ディプロマポリシー等の達成に必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法についての基本的な方針。

## ○教育ボランティア

授業のゲストスピーカー、看護技術演習の模擬患者、健康生活支援技術演習で学生が企画・実施する健康教育の模擬受講者、地域における健康生活支援学実習で行う家庭訪問の受け入れ家族など、あらかじめ登録した地域住民が授業に協力する制度。

#### ○グループダイナミクス

集団力学。集団において、人の行動や思考は、集団から影響を受け、また、集団に対しても影響を与えるというような集団特性のことを指す。人が集まれば、一人の考えが複数の人との関係性により、よりよい考え方が出来て問題が解決していくということ。

#### ○健康創造都市

神戸市では、2017年7月に「健康創造都市 KOBE 推進会議」を設立し、民間企業や医療関係者等とともに、健康寿命の延伸、健康格差の縮小対策、個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化を目指し、誰もが健康になれるまち「健康創造都市 KOBE」を推進している。

#### ○現代 GP 事業

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」のこと。各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応して文部科学省がテーマ設定を行い、そうしたテーマに対応する特に優れた大学教育の取組が選ばれ、その取組に対し財政支援が行われる仕組み。本学では2006年に採択され、3年間の活動を行った。

#### ○コアコンピテンシー

「コンピテンシー」とは「単なる知識や技能だけでなく、様々な心理的・社会的リソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な課題に対応することができる力」のことであり、ここでいうコアコンピテンシーとは、単なる知識や技能だけでなく、様々な資源を活用して特定の状況の中で複雑な課題に対応するための核となる能力のことを指す。

#### ○コラボ教育

地域貢献活動の一部を教育課程に取り入れ、地域住民の暮らしを理解するとともに、継続看護・訪問看護の教育強化、多職種連携の研究や専門看護師の育成強化、地域住民のネットワーク構築の支援を行う。

#### ○コンプライアンス

企業などが、法令や規則をよく守ること。法令遵守。

### 【サ行】

#### ○CNS

専門看護師（CNS：Certified Nurse Specialist）のこと。本学の「CNS コース」の課程を修了し、日本看護協会が行う資格認定試験に合格することで専門看護師認定資格を得ることができる。

### ○COC 事業、COC+事業

文部科学省の補助事業で、大学が自治体等と連携して地域の課題を解決し、併せて大学のガバナンス改革を行うことにより地域再生・活性化の核となる大学を形成することを目的としている。「COC」は「Center of Community」の略語で、「地（知）の拠点整備事業」とも称される。

2015年度からは、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に名称が変更され、事業の目的も「地域のニーズと大学のシーズ（教育・研究・社会貢献）のマッチングによる地域課題の解決」から「地方の大学群と、地域の自治体・企業やNPO、民間団体等が協働し、地域産業を自ら生み出す人材など地域を担う人材育成を推進」に変更された。

### ○シラバス

一般に教師が学生に示す講義・演習等の授業計画書を指す。主に、児童・生徒・学生・進学希望者、及びその保護者らに、授業の目的、内容、計画、評価基準を周知させ、公開する目的で作成される。

### ○GPA (Grade Point Average)

GPA 制度は、国内外の大学で用いられている成績評価の一つ。授業科目ごとの成績評価を5段階（本学では、S、A、B、C、D）で評価し、それぞれに対して4、3、2、1、0のグレードポイントを付与し、算出される単位当たりの平均値で評価する。

## 【夕行】

### ○地域包括ケアシステム

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域における「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供できるケア体制を構築すること。

### ○ティーチング・アシスタント（TA）

優秀な大学院学生に対して、学部学生の講義や実験等の教育補助業務を行わせることによって、大学教育の充実と大学院学生のトレーニングの機会提供を図るとともに、これに対する手当ての支給により大学院生の処遇の改善の一助とすることを目的とした制度、あるいはこれにより業務を行う大学院生を指す。

### ○ディプロマポリシー

卒業認定・学位授与の方針。

【ナ行】

○認知症神戸モデル

認知症の方やそのご家族が安心安全に暮らしていけるよう、認知症の早期受診を推進するための「診断助成制度」と、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「事故救済制度」を組み合わせ実施し、その財源は超過課税の導入により、市民の皆様から広くご負担いただくこととする全国初の取組み。

【ハ行】

【マ行】

○メンター

「良き指導者」「優れた助言者」等の意。一般的には自分自身の仕事やキャリアの手本となり、助言・指導をしてくれる人材のことを指す。

【ヤ行】

○UNITY（大学共同利用施設）

神戸研究学園都市周辺にある 5 大学 1 高専が、教室や会議室などを備えた大学共同利用施設「UNITY」を設置し運営。加盟大学間での単位互換授業、大学教員の研究交流、市民を対象とした公開講座、市民のコミュニティの場の提供などの事業を行っている。

○ユニフィケーション

本来の意味は、統合・統一・単一化を表わすが、異なる組織が手をつなぎ、看護の質の向上に取り組んでいくことをいう。臨床と教育の乖離を解消し、看護の実践と教育・研究とが連携し、看護教育ならびに臨床看護の質の向上を図っていこうとするもの。

【ラ行】

○リポジトリ

研究機関がその知的生産物を電子的形態で集積し保存・公開するために設置する電子アーカイブシステムのこと。

【ワ行】